H23 4/7 民報

キロのように一律ではなく環境放射能の測定値

井市長が解除を含めて再検討を求めたとみら

は「全面的に支援していく」と述べたという。

各地点の環境放射線量測定結果は次の通

飯舘 乳幼児、妊婦 村外避難へ

飯舘村は村内で高い放射線量が検出されていることを受け、六日、三歳未満の乳幼児と保護者、妊産婦の希望者を十三日から福島市飯坂温泉の旅館・ホテルに一時避難させることを決めた。

土壌の放射線量の数値が高い南部の比曽、蕨平、長泥の三行政区の希望者は、十三日から役場そばの村活性化センターいちばん館などに避難させる方針。自炊で、保健師が詰める。ともに無料。

七日午後一時半から役場で開く区長会で説明し、避難希望者を募る。

【県内9地点の環境

（6日午後7時現在

月日	測定時刻	福島市	郡山市	白河市	会若松
平常値		0.04	0.04～0.06	0.04～0.05	0.04～0.0
6日(水)	1:00	2.23	2.10	0.69	0.2
	4:00	2.20	2.13	0.68	0.2
	7:00	2.29	2.09	0.72	0.2
	10:00	1.94	2.08	0.69	0.2
	13:00	1.93	1.98	0.69	0.2
	16:00	1.94	2.02	0.69	0.2
	19:00	2.10	2.09	0.69	0.2

※測定場所＝県北保健福祉事務所、郡山合同庁合同庁舎、南相馬合同庁舎、いわ

※田村市船引町、飯舘村は定点観測していない

山）県県中保健福祉事務所（須賀川）田村市総合体育館（田村）県県南保健福祉事務所（白河）会津総合運動公園内あいづドーム（会津若松）県南会津保健福祉事務所（南会津）県相双保健福祉事務所（南相馬）いわき市保健所（勿来高（いわき）

◆放射線に関する相談（6日）▽件数＝290件（累計6423件）▽問い合わせ窓口＝024（521）8127

県内水道水の放射性ヨウ素などの調査は六日までに二十二市町村と二企業団の九十一検体で行われ、いずれも乳児の摂取制限指標値（一キロ当たり一〇〇ベクレル）を下回った。

飯舘村は五日に田尻浄水場から採取した水

県は、放射線健康リスク管理アドバイザーに任命した長崎大大学院の山下俊一教授と高村昇教授が県民を対象に行った説明会で、参加者から寄せられた主な質問と回答をまとめ公表した。一時間当たり一〇マイクロシーベルト以下なら、子どもを外で遊ばせても大丈夫だとし、放射性物質を「ちり」に例え、家に帰ったら衣服から払い落とすようにすることを勧めた。胎児、妊娠へのリスクも心配ないという。

県のアドバイザーQ&A

10マイクロシーベルト以下なら

外遊び大丈夫 胎児心配なし

Q 一時間当たり数マイクロシーベルトでも、蓄積すると数ミリシーベルトを超えると思われる。胎児や子どもへの影響、将来妊娠した場合のリスクは。

A 報道されている値は屋外での線量で、屋内では五～十分の一程度に減る。現在の状況が続いても、健康リスクがあるとされる一〇〇ミリシーベルトまで蓄積される可能性はない。同じ線量でも、一回で一〇〇受けるより、少しずつ受ける場合のリスクははるかに少ない。

長崎では妊娠初期に被ばくした場合、小頭症が増えたが、被ばく線量が桁違いで、現在の福島の被ばく量なら心配ない。チェルノブイリでは0～5歳の子どもを中心に甲状腺がんの発生率が増加したが、胎児の増加報告はない。将来の妊娠も全く心配要らない。子どもも現在の線量で影響が出ることはない。

Q 現在妊娠中で、みそ汁にまでミネラルウオーターを使っている。水道水で野菜を洗うのも怖いが。

A 規制値以上の放射性ヨウ素が検出された水は飲まないのが賢明な選択。ただ、数回飲んだからといって心配する必要は今の放射線レベルなら全くない。逆に、ミネラルウオーターがないから水を飲ませない、ミルクをあげないのは乳幼児の健康に良くない。野菜を洗う、顔を洗う、風呂に入るなど、生活用水に使うのは心配ない。

Q 子どもを外で遊ばせても大丈夫か。洗濯物を外で干してもいいか。

A 一時間当たり一〇マイクロシーベルト以下なら外で遊ばせても大丈夫。通学も問題ない。ただ、指に付いた土をよく洗い、着ていた上着のほこりを払うようにした方が良いかもしれない。洗濯物は、取り込むときに少し丁寧にほこりを払う程度で問題ない。布団干しも同様。

Q 放射線量が上がってきたら、どのくらい気を付けるべきか。

A 国の指標では、線量の累積値が外部被ばくで一〇ミリ～五〇ミリシーベルト、内部被ばくで一〇〇ミリ～五〇〇ミリシーベルトになる可能性がある場合、屋内退避か避難指示するとされている。一時的な線量で判断することはできない。国や県が公表しているデータ推移に注意してほしい。

Q 原発の二十キロ圏内から避難しているが、家の中の物を取りに帰ってもいいか。

A 二十キロ圏内は退避指示が出ているので、国から許可があるまでは絶対に入らないでほしい。

Q 外出の際の防護策は。

A マスクが放射性物質を防ぐことは実はあまりない。外出し、家に入るとき、上着は軽くほこりを払う程度で良く、ビニール袋に詰める必要はない。部屋の中に掛けても問題ない。雨に多少ぬれても問題ないが、傘を差す方が心理的に安心できるだろう。傘を玄関先に立て掛けておいても問題ない。帰宅直後、すぐに手や髪を洗わなければならないわけでもない。

Q 浄水器で放射性物質が除去できるか。沸騰させると良いとも聞くが。

A セシウムは、浄水場でろ過される際に吸着されるので水道水に出ない。ヨウ素は水道水に出てきて浄水器でもろ過されないと思われる。ヨウ素の沸点は高く、沸騰させてもあまり蒸発しないだろう。

Q 被ばくはうつるか。

A 被ばく自体はうつらない。放射性物質をちりのようなものだと考え、きちんと衣服などから払い落とせばうつることはない。

Q 「直ちに健康に影響ない」とよく聞くが、「直ちに」をどう理解すればいいのか。

A 規制値は、そのレベルの放射線量の食品や水を一年間食べたら影響が出る可能性があるという目安。「直ちに影響はない」とは、数回または一週間などの短期間、規制値を多少超えた食品を食べても影響がないことを意味している。

福島、今年一

六日の晴れ間で気温が福島地度、会津二度など高を記録

七日も見込みだ曇る所も高気温は見込み。二原発付風二～四時、南東が吹く見

きょうの第一原発付近の天気と風向き（数字は風速m/s）

0 3 6 9